

Seide Wireless

TDW

ハンドヘルド・セット



ベルトパック・セット



製品の特徴

この度はSeide Wireless 製ワイヤレスシステム「TDWシリーズ」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

- 通信距離50m
- B帯30波 同時使用6波対応
- 人気のあるボーカルマイクのマイクモデル
- マイクはローリングストップパー仕様・マイクホルダー付属
- ヘッドセット、楽器のボディパケットランスミッター
- トランスミッター／レシーバーの両方にバッテリー残量インジケータを搭載
- RFレベルやトランスミッターのバッテリー残量などの重要な情報をLEDでリアルタイム表示
- レシーバーは1Uラックに1台または2台マウントできる金具付属



製品内容

セット内容	ハンドマイクセット	ベルトパックセット
レシーバー + 電源 + アンテナ	○	○
ラックマウントキット	○	○
ハンドマイクトランスミッター	○	-
マイクホルダー	○	-
ベルトパックトランスミッター	-	○
ヘッドセットマイク	-	○
タイピンマイク	-	○
楽器用ケーブル	-	○
ポーチ	○	○
取扱説明書と保証証	○	○

IDE corporation

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限公司が制作しています。

発売元：IDE コーポレーション有限公司

〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西 1-1-4 TEL 06-6630-3990

本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。製品の仕様は予告なく変更することがございます。製品のサポート・修理はご購入の販売店にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外での使用はしないでください



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

異常に気づいたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。

安全にお使いいただくために

特定の設置方法によって障害が起きないことを保証するものではありません。本製品がラジオやテレビの受信に障害を発生させる場合には、以下の方法をお試しください。

なお本製品が原因かどうかを調べるには、本製品のスイッチをオン/オフしてご確認ください。

- ・受信アンテナの向きを変える、もしくは設置場所を変える
- ・本製品と受信アンテナの設置場所を離す
- ・本製品と受信アンテナを別回路のコンセントに接続する
- ・販売店、もしくはラジオやテレビの専門技術者に相談する

注意

内部を開けないでください。感電の恐れがあります。

警告：火災や感電を防ぐため、ねじ等を外さないでください。このなか一般使用が可能な部品はありません。製品に問題がある場合はメーカーまでお問い合わせください。

警告：火災や感電を防ぐため、製品を雨や湿気にさらさないでください。

1. マニュアル（本取扱説明書）に記載されている警告・注意事項に従ってください。
2. 本書に記載されている以外の使い方はしないでください。本製品が以下のような原因で故障した場合にはサポートサービス・修理が必要です。
 - ・水などの液体がかかった、物が製品上に落下した
 - ・製品が雨や湿気にさらされた
 - ・異常な動作をする、パフォーマンスが著しく変化した
 - ・製品を床に落とした、内部が破損した

3. 暖房器具、ラジエーター、その他の熱を発する機器など熱源のそばに置かないでください。
4. 製品内に物や液体が入らないようにしてください。水のそばでの使用や設置は避けてください。
5. コードは踏まないでください。コードの上に物を置かないでください。引っかかりやたるみの原因となります。プラグおよび製品に接続されている部分のコードには特に注意してください。
6. 湿った布以外で製品を拭かないでください。
7. 弊社指定の付属品やアクセサリ以外のものは使用しないでください。
8. 長時間にわたり大音量で音を聞き続けると回復不可能な難聴や聴力低下などの原因となる場合があります。常に「安全な音量」を心がけるようにしてください。

最高のパフォーマンスを得るために

- ・トランスミッターとレシーバー・アンテナの間に障害物がないようにしてください。レシーバーをラックやキャビネットの下段に設置するのは避けてください。
- ・レシーバーを壁などの障害物の裏に設置するのは避けてください。
- ・コンピューター、ワイヤレス・アクセス・ポイントや電子レンジなどのようなRFを発生する機器の付近にレシーバーを設置するのは避けてください。
- ・アンテナは上向きに立て、ラックやラック・レールなどの金属の部分に触れないように45度を開いて（2本のアンテナが90度の角度になるように）設置してください。
- ・トランスミッターのアンテナをブロックしないようにしてください。ボディパック・トランスミッターをポケットに入れるのは避けてください。

TDW800 周波数表

	周波数(MHz)	グループ番号					
		1	2	3	4	5	6
1	806.125	B11					
2	806.250		B21				
3	806.375	B12					
4	806.500		B22				
5	806.625			B31			
6	806.750				B41		
7	806.875			B32			
8	807.000		B23				
9	807.125	B13					
10	807.250						B61
11	807.375			B33			
12	807.500				B42		
13	807.625					B51	
14	807.750	B14					
15	807.875		B24				

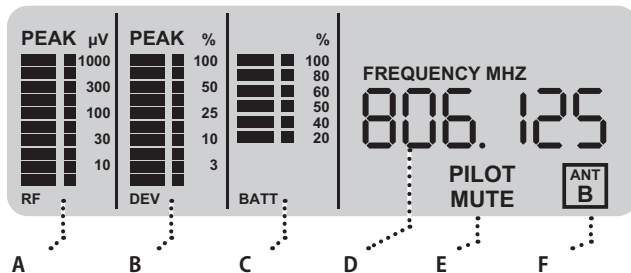
	周波数(MHz)	グループ番号					
		1	2	3	4	5	6
16	808.000				B43		
17	808.125					B52	
18	808.250			B34			
19	808.375					B53	
20	808.500		B25				
21	808.625			B35			
22	808.750					B54	
23	808.875		B26				
24	809.000	B15					
25	809.125				B44		
26	809.250			B36			
27	809.375				B45		
28	809.500	B16					
29	809.625					B55	
30	809.750				B46		

レシーバー TDW-610R 各部の名称

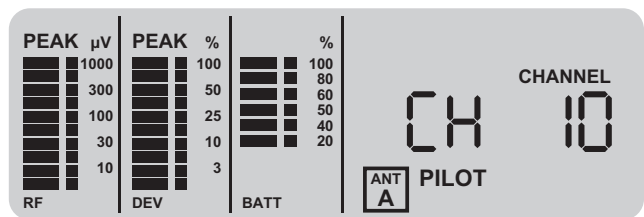
フロントパネル



周波数表示

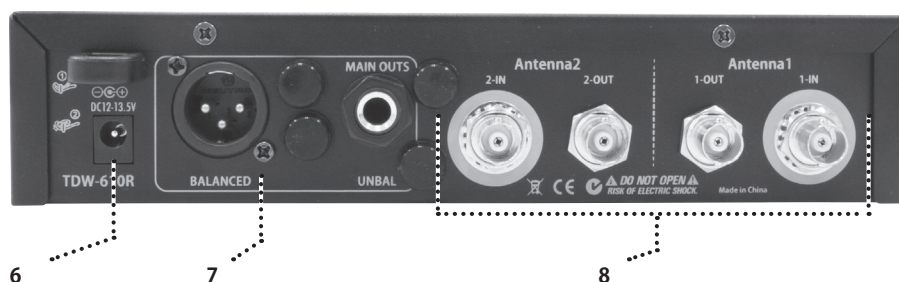


チャンネル表示



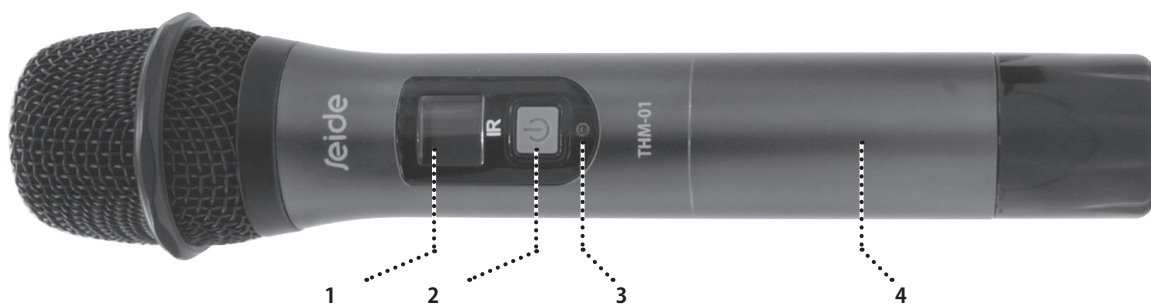
番号	名称	機能と使い方
1	赤外線SYNCポート	トランスミッターの赤外線を受信します
2	SYNCボタン	SYNCキーを押してチャンネル周波数をトランスミッターへ送信します。 ハンドヘルド・ベルトパックのIRポートを10~15cmに近づけてください。 ハンドマイク及びベルトパックのIRポートをレシーバーの赤外線SYNCポートに近づけSYNCボタンを1秒間押すとレシーバー側の指定されたチャンネルになります。 SYNCボタン長押し - 周波数表示とチャンネル表示を切り替えます。
3	LCDディスプレイ (オレンジ:ミュート ホワイト:受信状態)	(A) RF信号の受信状態を表示します
		(B) 信号の受信状況を表示します
		(C) 接続中のトランスミッターのバッテリー残量を表示します
		(D) 周波数表示/チャンネル表示切り替え SYNCボタンを3秒押すと表示が切り替わります
		(E) ハンドマイク使用時のミュート機能
		(F) アンテナを表示 A/Bダイバシティ回路によりA/Bアンテナのどちらを使用しているか表示します
4	ファンクションキー	SELECT "▲▼" ボタンでVOL 0~31まで調整し、SETボタンで決定します
		SET SETボタンを押し、SELECTスイッチでCHANNELを指定しSETボタンを押してください。 またSETボタンを2秒押すと自動でチャンネルを探します。 ハンドマイク及びベルトパックのIRポートをレシーバーの赤外線SYNCポートに近づけSYNCボタンを1秒間押すとレシーバー側の指定されたチャンネルになります。 受信するとディスプレイは白色になります
5	電源スイッチ	電源 ON / OFF

リアパネル



番号	名称
6	DC電源入力 DC12V 入力
7	オーディオ出力 バランス及びアンバランスジャック
8	アンテナ接続端子 ホイップアンテナ入力

▶ ハンドマイク THM-01 各部の名称



番号	名称	機能と使い方
1	ディスプレイ	グループ、チャンネル、バッテリー残量を表示します (表示は3秒後に暗転します)
2	電源・ミュートボタン	3秒長押しすると電源OFFになります
3	IRポート	赤外線を送信します レシーバー側の赤外線SYNCポートに近づけてください
4	電源ボックス	単三電池2本 (古い電池を使わないでください)

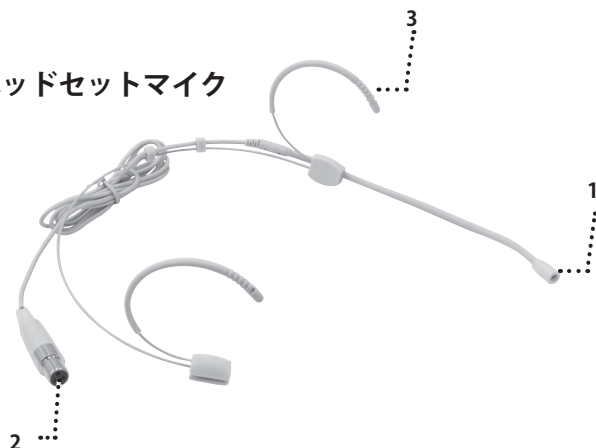
▶ ベルトパックトランスミッター TBP-01



番号	名称	機能と使い方
1	ディスプレイ	グループ・チャンネル・バッテリーを表示します。3秒後に暗転します
2	IRポート	赤外線を送信します レシーバー側の赤外線SYNCポートに近づけてください
3	ゲインコントロール	入力ゲインを調整します
4	送信アンテナ	トランスミッターからレシーバーへ電波を送信します
5	ON/OFFスイッチ	3秒長押しでON/OFF
6	入力端子	ミニXLR3ピン
7	ベルトクリップ	トランスミッターをベルトなどに固定します

各部の名称

ヘッドセットマイク



番号	名称	機能と使い方
1	マイク入力	アームを調整し口元に近づけてください 入力感度はトランスミッターで調整します
2	出力端子	ミニXLR3ピン端子 ベルトパックトランスミッターに接続します
3	イヤフック	後頭部から両耳にかけて使用してください

楽器用ケーブル



番号	名称	機能と使い方
1	モノラルフォン端子	ギターや楽器などに接続してください 入力感度はトランスミッターで調整します
2	出力端子	ミニXLR3ピン端子 ベルトパックトランスミッターに接続します

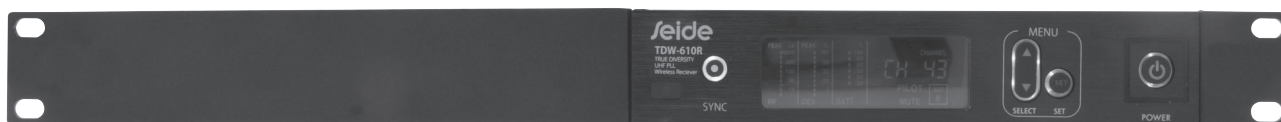
タイピンマイク



番号	名称	機能と使い方
1	マイク入力	アームを調整し口元に近づけてください 入力感度はトランスミッターで調整します
2	出力端子	ミニXLR3ピン端子 ベルトパックトランスミッターに接続します
3	クリップ	衣服などに固定します

ラックマウントキット / 1 台マウント時

付属の L 字金具ショートと L 字金具ロングを取り付け、ラックにマウントします



ラックマウントキット / 2 台マウント時

付属の L 字金具ショート x2 を取り付け、底面金具で 2 台を接続してください。上にモノなどを置かないでください。



使い方

ハンドヘルドトランスミッターのセットアップ

トランスミッター下部を回して外し、電池を入れてください。カバーを閉じて元にもどしてください。ディスプレイの下にある電源ボタンを数秒間押し続けると電源が投入されます。ディスプレイには、現在選択されているグループ、チャンネルとバッテリー残量が表示されます。バックライトは一時的に点灯し数秒ですぐに消えます。トランスミッターはご使用のレシーバーと同じチャンネルに設定されている必要があります。

ベルトパックトランスミッターのセットアップ

下部バッテリーカバーを開け、電池を入れてください。カバーを閉じて元にもどしてください。上部にある電源ボタンを数秒間押し続けると電源が投入されます。ディスプレイには、現在選択されているグループ、チャンネルとバッテリー残量が表示されます。バックライトは一時的に点灯し数秒ですぐに消えます。ベルトパックトランスミッターはご使用のレシーバーと同じチャンネルに設定されている必要があります。

レシーバーの接続 (オーディオ出力)

レシーバーにはバランス XLR およびアンバランスコネクターが用意されています。ミキサーやパワード・ミキサーに接続するには、レシーバーのアウトプットからミキサーのインプットへケーブルで接続してください。

マイク使用のコツ (タイピン・ヘッドセットマイク)

口元とマイクの距離を一定に保つようにしてください。肩などにマイクをつけると頭の動きにより音量の差が生じます。このような症状を最小限に抑えるために、マイクの取り付け位置や角度を工夫し調整してください。

動作範囲のウォークテスト

新しい場所にワイヤレスシステムを設置する場合には、まず設置したい位置に設置したあと、ワイヤレスシステムを稼働し動作範囲 (50m) を歩いてみてください。使用しながら、アンテナ位置に対して信号の途切れなどの問題がないか確認してください。トランスミッターとレシーバーアンテナの間になるべく障害物がないように設置してください。

トラブルシューティング

1. 点灯しない	電池が切れている →電池を交換してください
2.RF 信号がない	送信周波数と受信周波数が違う →同じ周波数に調整してください トランスミッターが遠い →送受信距離を縮めてください
3.RF 信号はあるがオーディオ信号がない	トランスミッターがミュートになっている → MUTE をオフにしてください
4. オーディオ信号に雑音が乗る	トランスミッターの感度が低すぎる →感度を確認し、調整してください レシーバーの AF 出力レベルが低すぎる → AF 出力を調整してください
5. オーディオ信号が歪む	トランスミッター感度が高すぎる →感度を確認し、調整してください レシーバーの AF 出力レベルが高すぎる → AF 出力を調整してください

仕様

システム	
送信到達距離	50M
周波数特性	20Hz~16KHz
THD	< 1% (@AF 1KHz, RF 46 dBu)
S/N比	>90dB
パイロット周波数	32.768KHz
周波数帯	806.125MHz~809.750MHz
チャンネル数	30 channels

THM-01 ハンドヘルドトランスミッター	
バッテリー	アルカリ単3電池x2本
寸法	L260 x Φ62 mm
重量	300g

TBP-01 ベルトパックトランスミッター	
カプセル	20dB adjustable
RF出力	10mw
バッテリー	アルカリ単3電池x2本
寸法	D22xW65xH110(193アンテナ込)mm
重量	75g

TDW-610R / レシーバー

オーディオ出力	レベル	Unbalanced +10dBu
		Balanced 10dBu
	インピーダンス	Unbalanced 800 ohms
		Balanced 800 ohms
入力感度		-100 dBm/30 dB sinad
イメーヂ除去		75dB
電圧		13.8V
出力端子		unbalanced フォンジャック
		balanced XLR3pin
付属		ラックマウント金具
寸法		210 x 180 x 45 mm
重量		1.25 kg

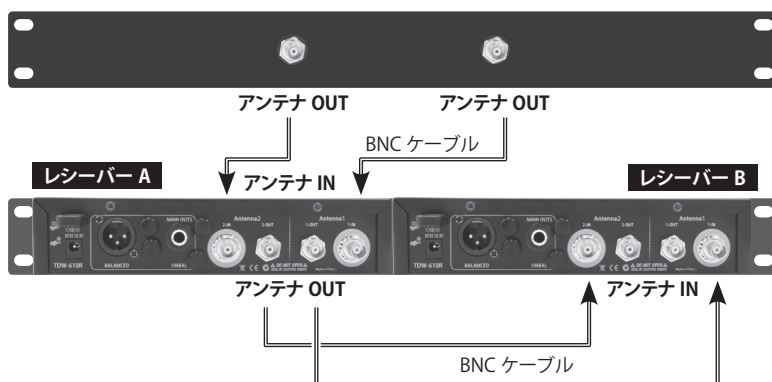
オプション

前アンテナキット

ザイドワイヤレス「前アンテナキット」はラックマウント時に前面にアンテナを取り付けることができる 1U ラックパネルです。アンテナデバイダーを必要とせず、最大 4 台までカスケード接続してアンテナを接続することができます。これにより 3U ラックで 4 台のレシーバーをマウントして運用することができます。



マウント時の接続 / リアパネル



前アンテナキットのアンテナ OUT からレシーバーのアンテナ IN に BNC ケーブルで接続してください。

2 台ラックマウント時はカスケード接続により、前面パネルにアンテナを設置することができます。

- ・前アンテナキットのリアパネルから BNC ケーブルで "レシーバー A" のアンテナ入力に接続してください。
- ・"レシーバー A" のアンテナ出力から "レシーバー B" のアンテナ入力に接続してください。